

■ 10-JP 高齢者上部胃癌に対する LECS
LECS for the elderly upper gastric cancer.

代表演者：山井礼道（高知赤十字病院外科）

Speaker: Hiromichi Yamai, M.D., Kochi Red Cross Hospital, Department of Surgery

共同演者：[高知赤十字病院外科] 宇都宮正人，行重佐和香，西岡康平，古北由仁，松岡永，甫喜本憲弘，大西一久，谷田信行，浜口伸正

当院は2014年1月に腹腔鏡下胃癌手術を導入し、また、2018年5月からはロボット支援腹腔鏡下胃癌手術を導入、2018年10月までに195例のロボット支援を含む腹腔鏡下胃癌手術を経験した。

平均年齢は71歳と高齢化社会を反映しており、85歳以上は14例含まれていた。その内 Stage I B以上の進行胃癌が9例含まれており、2例が再発死亡し、3例は他因死していた。比較的短期の follow 期間にも関わらず、9例中5例が死亡しており、高齢者進行胃癌の予後は不良と考えられた。

このような背景と胃粘膜下腫瘍に対する LECS の経験をもとに、2014年5月から高齢者 U 領域胃癌 4例に対して LECS を施行した。全例が出血による貧血が診断契機であった。手術拒否患者に対して IC を行い、手術を同意された患者が2例、PS不良のために縮小手術として同術式を提案した患者が2例であった。平均年齢 86.7 歳、平均腫瘍径 41.3mm、平均手術時間 304 分、術後入院日数 5.5 日、合併症は無かった。平均観察期間 20.8 ヶ月で再発は認めていない。2例に対しては TANKO pulse one puncture に直針を用いた Crown 法で切除を行った。手術手技も含めて報告する。